

平成24年7月23日

保護者 様

仙台市立吉成小学校
校長 菊 地 博

仙台市生活・学習状況調査の結果（概要）について

1 仙台市生活・学習状況調査について

仙台市生活・学習状況調査は、以下の2点を目標とし、小学校2年～中学3年生を対象に、全市一斉に実施しているものです。

- (1) 「市の状況」との関係において、本校における学習状況や生活習慣等に関する取組の成果と課題を分析し、今後の指導の工夫・改善に生かす。
- (2) 児童一人一人の学習状況や生活習慣等を把握し、個に応じたきめ細やかな指導の充実に生かす。

内容は、「学校生活」「授業」「学習意欲」「家庭生活」「自由時間」「家庭学習等」「社会・地域とのかかわり」「道徳心・挑戦・夢」「自分づくり」に関する質問紙調査です。

2 本校における調査結果の概要と今後の方策について

結果の詳細については、4ページ以降の各学年の回答結果をご覧ください。ここでは、各学年の特徴的な傾向のうち、学校での指導に直結することについてのみ記します。

※ 回答結果の数値は、設問に対して「当てはまる」「どちらかといえば当てはまる」を合わせた割合（％）です。

(1) 第2学年

番号	質 問	仙台市	本校	差
5	べんきょうして、あたらしいことがわかるようになるのは、たのしい。	93.0	85.7	-7.3
8	べんきょうしないと、しかられるから、しかたなくがんばる。	60.6	73.5	12.9
17	もっとよく知りたいことがあると、じっとしてられない。	78.0	69.4	-8.6
44	おとなになった時のことを考えると、たのしいきもちになる。	81.4	67.3	-14.1
45	おとなになった時のことについて、いえの人と、はなしている。	60.3	38.8	-21.5

「べんきょうして、あたらしいことがわかるようになるのは、たのしい。」と回答した児童の割合は85.7％ですが、市全体の割合を7.3ポイント下回っています。「もっとよく知りたいことがあると、じっとしてられない。」は69.4％で、8.6ポイント下回っています。

「べんきょうしないと、しかられるから、しかたなくがんばる。」と回答した児童の割合は73.5％で、市全体の割合を12.9ポイント上回っています。

また、「おとなになった時のことを考えると、たのしいきもちになる。」と回答した児童の割合は67.3％で、市全体の割合を14.1ポイント下回っています。「おとなになった時のことについて、いえの人と、はなしている。」と回答した児童の割合は、38.8％

で、市全体の割合を21.5ポイント下回っています。

低学年では、学ぶことの楽しさを実感させることが重要です。生活科などの体験を重視した学習を中心に、各教科において「なぜだろう？」と思う気持ちをふくらませることができるよう指導の充実を図っていきます。

また、低学年においても、おおづかみに将来の夢や目標をもつことは大切です。道徳や自分づくり教育の充実を図りながら、意識させていきます。

(2) 第3学年

番号	質 問	仙台市	本校	差
17	もっとよく知りたいことがあると、じっとしてられない。	75.2	63.5	-11.7
37	じぶんには、よいところがあるとおもう。	75.0	68.3	-6.7
41	おとなになった時のことを考えると、たのしいきもちになる。	80.1	73.0	-7.1

「もっとよく知りたいことがあると、じっとしてられない。」と回答した児童の割合は、63.5%で、市全体の割合を11.7ポイント下回っています。

また、「じぶんには、よいところがあるとおもう。」と回答した児童の割合は68.3%で、市全体の割合を6.7ポイント下回っています。「おとなになった時のことを考えると、たのしいきもちになる。」と回答した児童の割合は73%で、市全体の割合を7.1ポイント下回っています。

学習意欲が高まるように、学ぶ楽しさが実感できるような指導の充実を図っていきます。

また、将来の夢をふくらませたり、自己肯定感を高めたりすることができるように、道徳教育や自分づくり教育の充実も図っていきます。

(3) 第4学年

番号	質 問	仙台市	本校	差
12	べんきょうをするのは、いやだ。	23.2	18.0	-5.2
18	ものごとのしくみや、りゆうを、あれこれ考えるのはたのしい。	77.2	90.2	13.0
33	ほかの人のやくにたつ人になりたいとおもう。	88.7	95.1	6.4
41	じぶんには、よいところがあるとおもう。	69.0	62.3	-6.7

「べんきょうをするのは、いやだ。」と回答した児童の割合が18%で、市全体の割合を5.2ポイント下回っています。「ものごとのしくみや、りゆうを、あれこれ考えるのはたのしい。」と回答した児童は90.2%で、市全体の割合を13.0ポイント上回っています。

また、「ほかの人のやくにたつ人になりたいとおもう。」と回答した児童が95.1%で、市全体の割合を6.4ポイント上回っています。「じぶんには、よいところがあるとおもう。」と回答した児童は、62.3%で、市全体の割合を6.7ポイント下回っています。

学習意欲が高いので、その意欲を確かな力として身に付けることができるように、基礎・基本の活用を重視した授業や、探究的な学習の充実に一層力を入れていきます。

道徳心の高さなどは、機会をとらえて賞賛し、自己肯定感や自尊感情を高めることにつなげていきます。

(4) 第5学年

番号	質 問	仙台市	本校	差
10	勉強をとおして、新しいことが分かるようになるのは、楽しい。	91.3	85.9	-5.4
20	自分自身の力で、何とかして答えを見つけたいと思う。	91.1	81.3	-9.8
62	難しいことでも、失敗をおそれないでチャレンジしている。	74.0	64.1	-9.9

「勉強をとおして、新しいことが分かるようになるのは、楽しい。」と回答した児童は、85.9%ですが、市全体の割合よりは5.4ポイント低くなっています。「自分自身の力で、何とかして答えを見つけたいと思う。」と回答した児童も81%ですが、市全体の割合よりは9.8ポイント低くなっています。

「難しいことでも、失敗をおそれないでチャレンジしている。」と回答した児童の割合は64.1%で、市全体の割合を9.9%下回っています。

自ら学ぶ意欲を高めることができるように、課題解決型の学習の進め方を工夫し、その充実を図っていきます。

「失敗を恐れない」ということは、難しいことではありますが、「たくましく生きる力育成プログラム」等を活用した授業をとおして、児童の意識に働きかけていきます。

(5) 第6学年

番号	質 問	仙台市	本校	差
6	普段の授業では、学級の友達との間で、話し合う活動をよく行っていると思う	82.6	71.1	-11.5
16	新しいことやワクワクするようなことを探しながら、いつも勉強している。	69.7	59.0	-10.7
26	物事の仕組みや、理由について、いろいろ考えるのは楽しい。	72.8	61.4	-11.4
63	みんなと意見が違っていても、自分の意見を話す。	58.8	53.0	-5.8

「普段の授業では、学級の友達との間で、話し合う活動をよく行っていると思う」と回答した児童が71.1%で、市全体の割合に比べ11.5%下回っています。また、「みんなと意見が違っていても、自分の意見を話す。」と回答した児童は58.8%で、市全体の割合に比べ5.8ポイント下回っています。

「新しいことやワクワクするようなことを探しながら、いつも勉強している。」と回答した児童は59%で、市全体の割合に比べ10.7ポイント下回っています。「物事の仕組みや、理由について、いろいろ考えるのは楽しい。」との回答も61.4%と低く、市全体の割合に比べても11.4ポイント下回っています。

学習意欲を高めるため、高学年教科担任制の充実を図りながら、教科学習の魅力を高めていきます。

また、自分と違う考えを受け入れ、よりよい考えを創り出せるような、話し合い活動の工夫等を進めていきます。特に、「たくましく生きる力育成プログラム」等を活用した授業をとおして、多様性の理解が進むように働きかけていきます。